

胃がん検診を受診される方へ

～バリウムを飲んだ後の重い副作用を防止するために～

- 検査後、バリウムが長時間腸内に残っているとだんだん硬くなり、排泄しづらくなります。そのため、まれに消化管穿孔(消化管に穴が開く)、腸閉塞(消化管にバリウムがつまる)、バリウム腹膜炎などの重い症状を引き起こすことが報告されています。
また、高齢者の場合、より重篤な経過をたどることがありますので、検査後にできるだけ早くバリウムを排泄させるため、以下の点に注意してください。

- (1) 受け取った下剤は、帰宅後必ず指示どおりに、できるだけ多くの水で飲んでください。熱いお湯だとバリウムが固まる危険がありますので、必ず水または冷たいお茶で服用してください。また、口の中でなめてしまうと下剤が上手く作用しませんのでご注意ください。

なお、保健センター内で内服される方は、水分を各自ご用意ください。

- (2) 下剤を飲んだ後も、できるだけ多く水分を摂ってください。
- (3) 便意を感じなくても、定期的にトイレに行くようにしてください。
- (4) 検査後は、便の状態を確認していただき、24 時間経過してもバリウム便(白い便)が全く出なく腹痛を伴うようであればすみやかに医療機関を受診してください。また、健診の次の日から 2 日を過ぎても排便をみない場合は、腹痛を伴わなくても医療機関を受診してください。